

Title	「華僑」の国籍や血縁の意識変化についての一考察：横浜山手中華学校の特質とこれから
Sub Title	
Author	千年, 樹月(Chitose, Kizuki) 大藪, 毅(Oyabu, Takeshi)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2016
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2016年度経営学 第3177号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002016-3177">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002016-3177</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2016 年度）

論文題名

「華僑」の国籍や血縁の意識変化についての一考察  
—横浜山手中華学校の特質とこれから—

主 査	大藪 毅 専任講師
副 査	岡田 正大 教授
副 査	林 洋一郎 准教授

氏 名	千年 樹月
-----	-------

## 論文要旨

所属ゼミ	大藪 研究会	氏名	千年 樹月
(論文題名) 「華僑」の国籍や血縁の意識変化についての一考察 —横浜山手中華学校の特質とこれから—			
(内容の要旨) <b>【背景と目的】</b> 法務省の在留外国人統計より 2016 年現在、日本に居住する中国人は 70 万人を超え、日本における最大の外国人集団として今後更に身近な存在になると考えられる。そんな彼らの教育環境に着目すると、「華僑学校」が挙げられるが、その実態は 5 校しかなく、各校の経営方針も独自の個別性が高い。また、「華僑学校」は「外国人学校」に属す教育機関として、「各種学校」として扱われ、教育基本法の定める教育機関「一条校」とは違った立ち位置を持つ。故に、実に複雑で、未知な部分も多いとされることから、目には見えない多くの課題や苦悩を持つ。 本研究ではまず「外国人学校」とは？また、その中における華僑の多く通う「華僑学校」とは？を取り上げ、整理を行うことで今まで不透明とされていた外国人の日本国内での教育環境をひもとき、今後日本国内の「外国人学校」としての在り方を見直すことで理解を深め、日本社会における相互理解へ繋げるものとする。 特に、今回取り上げた横浜山手中華学校は「華僑学校」でありながら、政治的関与は少なく、民族教育以外にも日本教育にも注力をした多文化教育を行う教育機関である。よって、「外国人学校」として一般化出来るモデルではないながらも、今後の日本社会における多文化共存の推進。また、学校としてどの様にカルチャーやアイデンティティーの確立を行い、プレゼンスを高めていくかといった新たな課題について提言を行うものとする。 <b>【検証方法】</b> 法務省の外国人学校に関する資料や華僑に関する文献を基に整理し、本研究では「華僑」を対象を置いている為、「華僑」の通う教育機関である横浜山手中華学校を対象とし、関係者 5 名に直接インタビューや 20 代～40 代の卒業生にアンケートを行い、収集したデータを基に分析及び考察を行う実証研究とする。 <b>【キーワード】</b> 「民族学校」、「華僑」、「外国人学校」、「インターナショナルスクール」			